

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/11/06

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.57	-0.42
JPY/THB	0.2375	-0.0016
USD/JPY	149.39	-1.06
EUR/THB	38.09	-0.13
EUR/USD	1.0731	0.0109
USD/CNH	7.289	-0.038
SGD/THB	26.21	-0.15
AUD/THB	23.11	-0.04
USD/INR	83.29	0.03
USD Index	105.02	-1.10

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.858	-0.015
10Y (THB)	3.220	-0.019
5Y (USD)	4.504	-0.130
10Y (USD)	4.572	-0.087

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,999.2	5.7
WTI (Oil)	80.51	-1.95
Copper	8,175.5	32.5

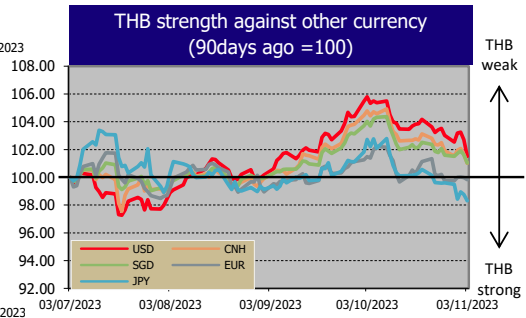
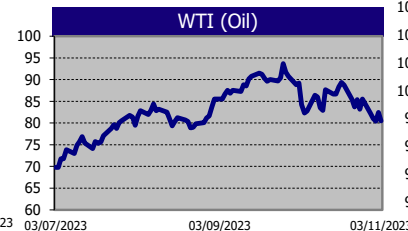
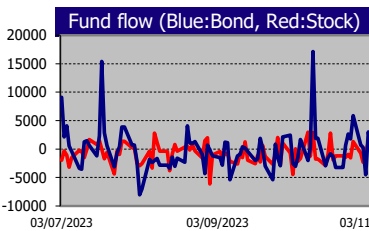
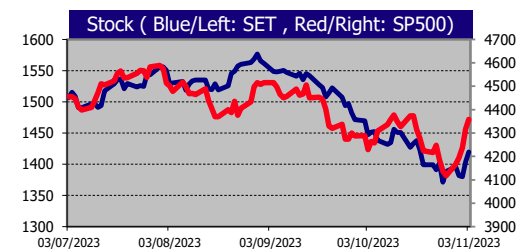
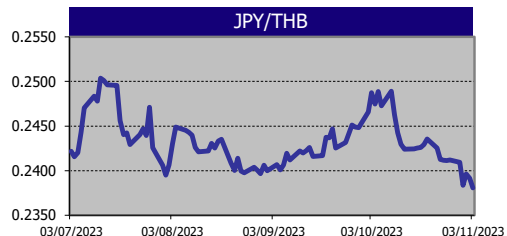
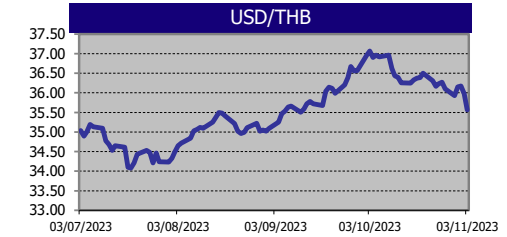
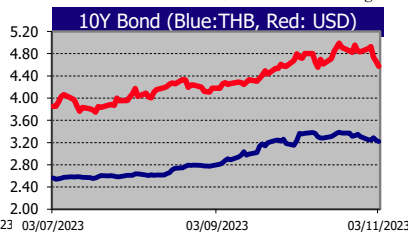
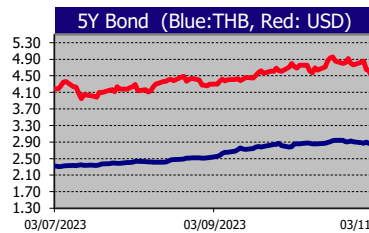
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,419.76	15.77
NIKKEI (JP)	31,949.89	0.00
DOW (US)	34,061.32	222.24
S&P500 (US)	4,358.34	40.56
SHCOMP (CN)	3,030.80	21.39
DAX(GER)	15,189.25	45.65

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(575)	-1782.2
Bond net flow	478	-2547.7

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

3日のドルパーツは大きく下落。36パーツちょうど付近で取引を開始。米金利が低下基調だったことや前日の米雇用系指標が予想に届かなかったことから、米雇用統計の発表を前にドル売り基調。オンショア市場引け間際には35パーツ台後半へと下落した。海外時間、米10月雇用統計では非農業部門の雇用と前月比での平均時給の伸びが鈍化。加えて、失業率上昇が確認されたためFRBの利上げ停止及び利下げ時期前倒しを見込んだ米金利が急低下。ドルパーツも35パーツ台半ばまで急落し、そのまま9月中旬以来のドル安水準で引けた。

●ドル円その他

3日のドル円は下落。150円台半ばで取引を開始し、前日の流れを継いでドル売りが優勢だったが、東京休場で参加者が少なかったこともあり、下値は限定的。欧州勢が参加してくると、雇用統計前に調整と見られる巻き戻しが若干見られた。注目された米10月雇用統計は非農業部門雇用者数変化が予想に届かず、失業率も予想比悪化。これを受けて149円台前半まで急落したが、10月ISM非製造業景況指数が予想を上回ると一時ドル買いで反応。ただし、米金利が大きく下げている中でドル買いは持続せず、結局149円台前半に押し戻されて149.39レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週末発表された米10月雇用統計は非農業部門雇用者数が150千人(予想180千人)、失業率は3.9%(予想3.8%)、平均時給の伸びも前月比0.2%(予想0.3%)と総じて弱い内容でした。この結果を受けて金融市場における今後のFRBの追加利上げの可能性は相当低いと見られており、年内最後の12月FOMCにおいても金利据え置き予想が圧倒的メインです。市場の利下げ予想時期も前倒しされており、米雇用統計発表前は2024年5月だった予想が指標発表後は2024年3月FOMCにて利下げ開始予想へと前倒しされました。ただし、こうした予想はFRBメンバーの見解である金利が高止まりするという見方とは相反するものであり、若干古いものではありませんが、取得できる最新のFRBメンバー見通しである9月ドットチャートとの乖離も大きいです。これまでも利上げ終了だと市場が見越して金利が低下する動きがありましたが、そうした際には株高による資産効果がFRBのインフレ懸念を高めていたと記憶しておりますので、米金利低下やドルパーツの下落が急ピッチであることからその反動に十分注意が必要だと思えます。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.